

「個」が尊重され、自由闊達な三井物産での挑戦の日々

張 心 悦

Zhang Xinyue

2020 年： 京都大学共生人間学卒業

2020 年： 三井物産（中国） 有限会社に新卒入社、金属資源部配属

2022 年： 企画業務部に異動

2023 年： 東アジアブロック戦略企画部に異動 現在に至る



Q: 三井物産中国に入社して、一番良かったと思うことは何ですか？

A:

入社して5年目ですが、異なる部署での学びと経験を積み重ね、大きく成長できたと感じていることです。

2020年に新卒で入社した当初は、金属資源部で非鉄金属の国内貿易を担当していましたが、その後、企画業務部に異動し、分公司閉鎖を含む政府機関とのあらゆる手続きや会議運営、事業提案などに携わりました。そして、入社4年目に現在の部署である東アジアブロック戦略企画部へ異動し、事業計画策定、戦略的提案、広報などを担当しています。

初めて社会人としての一步を踏み出した時は、自分が何をやりたいかが見えず、漠然と不安に感じていました。しかし、会社で様々な機会に恵まれ、新しいことへの挑戦とプレッシャーはもちろんありましたが、それらは成長の機会でもありました。チームの仲間と協力しながら一緒に成長した喜びも、胃が痛くなるような思い出も、困難を乗り越えた時の達成感も、私にとって大切な宝物です。さまざまな経験を積んでいくことによって、スキルの幅やキャリアの可能性も大きく広がったと思います。

Q: 一番「三井らしい」と思うことは何ですか？

A:

「個」が尊重される、自由闊達な社風が一番「三井らしい」と感じます。

上述した部署異動が可能な国内転勤制度も、個々の適性に応じた働き方を尊重しているからこそその国内転勤制度であると考えます。また、三井物産は「人の三井」と表され、個性豊かで人間的魅力に溢れた人が多くいます。これは三井物産が何よりも人を大事にし、多様な個性を認め、一人ひとりが抱く想いを大切にする姿勢にあると思います。例えば社員が同僚たちに自分の経験を語る Active Talk イベントや語学研修(日本語・英語)、海外派遣、Work-X(在宅勤務・フリーアドレス)など、「個」が尊重される社内活動が数多く行われています。

Q: オフィス環境や職場の雰囲気はどうですか？

A:

オフィス内ではとても和やかな雰囲気です。人事総務部は常に社員の声に耳を傾けながら、職場環境の改善や社内活動の充実に努めています。

例えば、時差出勤制度や在宅勤務制度、フリーアドレス制度によって、働き方の柔軟性が高まりました。また、さまざまな社内イベントが充実しており、例えば、社員旅行(2023年は中国雲南省または日本の名古屋・三重)、前述の Active Talk(おいしい afternoon tea 付き)、家族を職場に招待する Family Day、スポーツ活動(ヨガ、バドミントン、ボクシング、サッカー等)などが挙げられます。

Q: 三井物産の「挑戦と創造」を支える4つの Values (「変革を行動で」、「多様性を力に」、「個から成長を」、「真摯に誠実に」)のうち、あなたが最も大切にしているのはどの部分ですか？

A:

私が最も大切にしているのは「個から成長を」です。

「個から成長を」の意味は、「常にプロとして自己を高め続け、個の成長を全体の成長につなげる」ことです。2019 年末には誰もが予想しなかった COVID による世界の混乱がありました。私たちが取り巻く環境は日々変化しており、私たちはこれに対応し、自分を成長させる必要があります。会社では、多様なバックグラウンドを持つ人がいるので多様な意見

をぶつけ合い、互いを認め合い、切磋琢磨しながら、自分の足りない部分に気づくことで、
持てる能力を最大限に発揮することができます。一人ひとりの「個」がプロになり、プロの
人たちが「個」の集団となることで三井物産という大きな集団が成り立っています。

この考え方は、業界や枠組みに捉われず、個人の成長とそれによる組織の発展を重視してい
るという点で、この価値観に深く共感しています。

